



# 私のひとりごと

## 「迷走」

家を建てるにあたり、土地をお持ちでない方にとって土地探しは大変悩ましい作業になる。一旦探し出すと、「これもいいけど、あれもいいね。」と本格的な不動産屋さん巡りが始まるが、私は「探し出すと見つからないよ。」と、稀にお伝えする事がある。ただし、なかなかその真意をご理解頂けない場合が多い。不動産屋さん巡りを始めると、いままでに無かった土地に関する知識が備わり、ある程度の良し悪しの判断基準がわかるようになってくる。そうなると「もっと良い土地があるのでは？」と、無意識にハードルを上げ、土地探しの迷走が始まる。100%満足する土地は滅多に無く、仮に見つかったとしてもとても高いお値段なのは言うまでもない。プロとして言わせてもらえば、7割程度の希望が叶えば十分「買い」であるが、本音を語れば、その7割でさえ贅沢だと思っている。



私の自宅は、美浜町の中でも取分け雪深い地域にある。その上、前面道路と家の敷地とは1mほどの高低差があり、家の方が低くなっている。駐車スペースといえば、道路から30度ほどの急勾配で下がった駐車場で、まさにスキー場のゲレンデ状態である。特に冬場は最も厳しい環境下での生活となる。雪が降れば早朝5時前後に除雪車が通り、家の前は雪山となる。幸い道路には幅の広い蓋付き側溝があり、中は小川になっているので雪の捨て場には困らない。早朝からスノーダンプを使い1時間ほどかけて除雪を行うが、平地と違い急勾配の坂では、雪を押し上げる作業も中々はかどらない。また、ゲレンデに止まった車はいくら四駆であっても登りにくく、水で坂道の雪や氷を溶かす作業を付け加え、やっとの思いでゲレンデからの脱出となる。帰りは帰りで朝と同じ行動となるが、雪の坂道に車を停めるといことは想像以上のスリルを味わうことになる。この行動が冬の間ずっと続くのである。なので、私の中では道路と同じ高さの敷地という条件さえそろえば、何処でも良い土地に思えるのである。

人は与えられた環境の中で生きていく知恵を身に付ける。今、日本の国全体が迷走し、特にこの地域では原発の問題で揺れている。どなたとお話しさせて頂いても、その現状には深く重いものがある。勿論、私もその中の一人である。ただし、そんな中でも明るく生きて行く方法がないものかと探ってみれば…、私には思い当たる方法が一つある。その方法とは、日常の中に小さな喜びを見つけること。そして、それをひたすら積み重ねる事。私はこれまでの人生の中で、このような心の切り替えにより人生が好転したという事例を数多く体験している。「そんな事で…」と思われるかもしれないが、やらないよりやったほうがいだろうという程度に受け取って頂いても結構かと思う。ただし私の経験上、これはかなりの効果が期待できる。

何はともあれ、拙い文章ではあるが、今年も途切れる事なくニュースレターを書かせて頂いた事と、それを皆様がお読み下さった事に深く感謝いたします。来たる新しき年も、きっと良い年でありますように。

ではまた来年もお会いしましょう。  
今年も最後まで読んでいただき…、

あーがしう  
ごさいました!!

